

令和7年8月26日

令和7年度2学期 始業式 挨拶

皆さん、おはようございます。夏休みに入る前に、安全に留意して、また新学期に、と伝えましたが、皆さんは無事に新学期を迎えられたことと思います。暑さがまだまだ続きますが、桜樹祭も直前に控え、様々なことが動き始めます。今日から気持ちを切り替えて、また新たな一步を踏み出しましょう。

この夏休み、皆さんの中にも日常とは異なる体験をした人が多かったと思います。私からも二つの活動を紹介したいと思います。

まずは、水泳部の生徒の活躍を紹介します。7月19日から行われた第76回関東高等学校水泳選手権大会において、100M背泳ぎで2位に入賞しました。200M背泳ぎとあわせ、2種目でインターハイ派遣標準タイムを突破し、全国大会出場権を獲得しました。

この生徒は8月17日から広島県で開催された第93回日本高等学校選手権水泳競技大会に出場し、200M背泳ぎは残念ながら予選敗退でしたが、100M背泳ぎでは、見事5位入賞を果たしました。本人を表彰したいところですが、今日はジュニアオリンピックの参加ということで、本人は不在ですので、この場を借りて紹介させていただきました。

顧問の先生の話では、記録的には優勝もうかがえるポジションにいたそうです。高校の部活では、インターハイに出場することを最終目標、とするアスリートは多いはずですが、全国の舞台で顔を合わせる各地区の代表選手たちに対して、全国ランキングを意識して参加していたことに私は感銘を受けています。テレビ中継が入り、会場には大学のスカウトもそろっている、数年後にはオリンピックに出る選手も混じっているような競技会場で、予選ラウンドから決勝ラウンドに向けて、舞台が上がるにつれて記録を伸ばし続けたことはとても素晴らしいことだし、なかなかできることではないものです。だからこそ悔しさもあったと思います。今回大きな舞台で力を発揮できたことには大きな称賛を送りたいと思います。

私は以前から「高みを目指して」と言っていたのを覚えている人もいるかもしれません。高みを目指して、というのは今回の全国大会だけではありません。たとえそれが小さなものでも、届くか届かないかわからないものにまずは手を伸ばしてみる勇氣はとても大切なものです。今日、登校することに勇氣が必要だった人もいるかもしれません。それも大切なものです。そんな大きな勇氣、小さな勇氣をもって皆さんも2学期を過ごしてほしいと思います。

最後にもう一つ紹介します。終業式で紹介しましたが、1, 2年生の生徒30名が11日間にわたって、オーストラリアのウヌーナ高校を訪問し、無事に帰国しました。ここでは、私が現地で感じたことを紹介します。これまでも海外に行くたびに感じていたことですが、今回私の心に残ったのは、人とのやりとりの大切さです。ウヌーナ高校で働く事務職員の方から次のようなことを言われました。

「あなたのことを知りたいから、あなたはどのような人か話して。」

初対面の場面で正面から聞かれるとびっくりする質問です。この職員の人は一生涯懸命に私の話を聞いてくれました。別な場面では、「週末に義理の両

親の実家でオレンジを収穫したら、70キロも収穫できたんだ。」というような話を楽しそうに教えてくれる人もいました。このように、今回の11日間、私は目の前にいる人に関心をもって、興味をもって話しかけてくる、そして自分のことを知ってほしいと思って、身の回りのことをあれこれ教えてくれるような人たちとあちこちで出会いました。言わなくてもわかるよね、という意識が強く、この人がどういう人か、やがてそのうちなんとなくわかる、という私たちの文化とは異なり、聞いてくる、話してくる、一緒にいる間とはにかく話す、そしてお互いに分かり合おうとする、そんな人と人との出会いとやりとりが続く体験が深く心に残っています。

今回の30人も貴重な体験をしてきましたが、それ以外の皆さんも今後の長い人生の中で、言葉や文化の異なる人と出会う場は大切にしてほしいと思います。必要なのは言語運用能力ではなく、自分たちとは少し違う価値観をもつ人たちが世界の大多数なのだ、と理解することです。戦争だ、地球温暖化だ、と私たちを取り巻く課題は山積みですが、一緒に解決するのは日本人だけではなく、多くが海の向こうの人たちとの協働です。最初に紹介した全国大会の話と同じように、こちらも手を伸ばす勇気があると、皆さんの人生に新しいヒントがもらえるかもしれないものです。異なる価値観、異なる考えを恐れずに、勇気をもって世界に目を向け続けていてください。

2学期は、桜樹祭で始まり、1, 2年生が選択講座決め、3年生はいよいよ出願、と、それぞれ手が届かないところに手を伸ばす勇気を試される場面が続きます。まずは小さな勇気を出して、踏み出してみる、そんな2学期にしてください。

私からの話は以上となります。